



河村ひろ子市議

4月に「医療・介護総合法」が実施され、介護報酬の大幅削減、要支援者の介護給付外し等が行われています。

日本共産党福山市議団は、7月末から1か月かけて、市内87の介護事業所へ実態調査アンケートを実施しました。

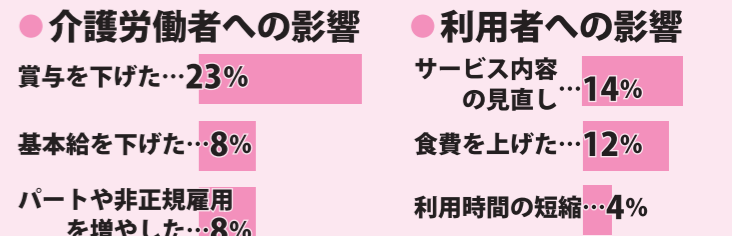
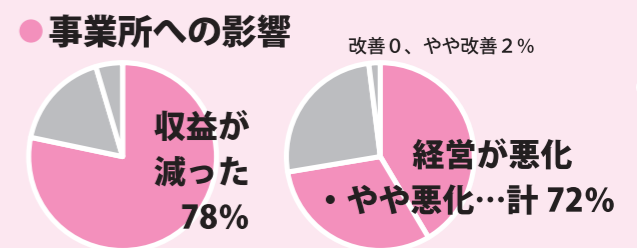
実態調査し 介護の充実を求める

報酬の削減は、事業所経営に大きな困難をもたらし、介護労働者のさらなる処遇悪化、利用者にはサービス低下と負担増を及ぼしています。



介護報酬削減の撤回・介護労働者の処遇改善交付金の再創設を国に求めること、市独自で市内の事業所の実態調査や支援制度の創設をするよう強く求めました。

160事業所から回答をいただきました。



●国や市への要望は、介護報酬の引き上げや、利用者負担軽減策の充実を求める声が多く寄せられました。

詳しいまとはホームページ等でも報告します。



土屋ともりのり市議

市は、市内の公民館79所、コミュニティセンター19所、ふれあいプラザ33所を再整備し、各小学校区に1か所ずつ「仮」交流館」を設ける「福山市地域交流施設等再整備基本方針」を発表しました。

公民館・ふれあいプラザ・コミュニティセンター 公共施設の「廃止・縮小」やめよ

コメントでは「役割が縮小されることがあつてはならない」「健康づくりや生きがいづくりが出来る居場所を残して」など、継続を望む声が多く寄せられました。

住民意見の尊重を 一律に「廃止・縮小」ではなく、住民意見をよく聞き、合意が得られない場合は、「廃止方針」を再検討するよう求めました。



地域の施設はコミュニティの核です。



高木たけし市議

市は8月24日、小中学校の統廃合予定校を示しました。6小学校▼東村・山野・広瀬 服部・内浦・内海 3中学校▼山野・広瀬・内海

学校統廃合計画の撤回を

学校がなくなれば、子育て世代の定住促進に奮闘する地域に冷や水を浴びせ、人口減少と過疎化に拍車をかけることとなります。小規模校だからこそ

学力的にも、一人ひとりの子どもが分かるまで学ぶには少人数の方が良く、WHO(世界保健機関)は100人以下の学校規模を推奨しています。

取り組んでいます。まちづくりと密接にかかわる学校の統廃合は、行政が一方的にすすめるべきではなく、計画を作る前に市民の意見をしっかりと聞くべきです。



福山市教委の小中統廃合計画 山野の住民が存続要望



村井あけみ市議

生活道路の維持費や 舗装予算を増やせ

9月補正予算では、道路維持費4700万円、舗装補修工事費3800万円が組み込まれました。

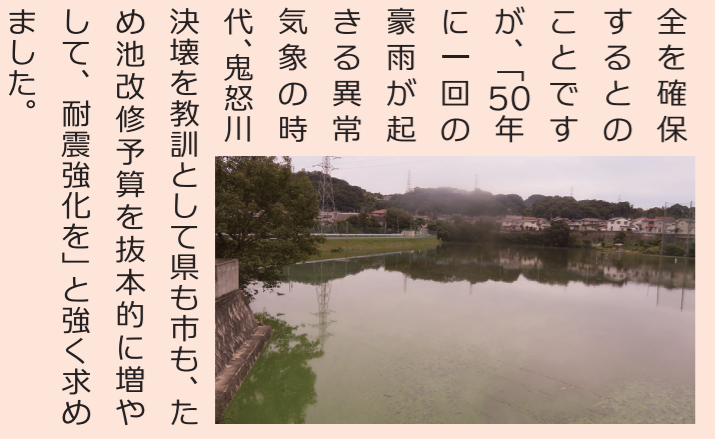


福山市の道路はいたるところでガタガタ、ポロポロ

しかし、市内いたるところの道路が傷み、穴ぼこや亀裂に

安全安心のまちづくりを

ため池の耐震強化を 県は、福山市内の地域防災計画に位置付けられた重要なため池のうち、貯水量が多く下流への影響が大きい38か所の調査結果を公表しました。



無料法律相談や生活相談など 各議員が対応しています。お気軽にご相談ください。

村井あけみ
TEL.084-941-2366
FAX.084-994-1767
Eメール murai@f-jcp.com
ブログもご覧ください。
村井あけみの奮戦記 検索

高木たけし
TEL.084-972-6830
FAX.084-972-6830
Eメール takagi@f-jcp.com
ブログもご覧ください。
たけし通信 検索

土屋ともりのり
TEL.084-957-2304
FAX.084-957-2401
Eメール tsuchiya@f-jcp.com
ブログもご覧ください。
土屋ともりのりのよもやまブログ 検索

河村ひろ子
TEL.084-965-6049
FAX.084-962-1928
Eメール kawamura@f-jcp.com
ブログもご覧ください。
ひろ子ワールド 検索

